

村山槐多「事実乎小説乎殺人行者」 テクストの校異 凡例

1. 『武侠世界』第4巻第5号所載のテキストと、『槐多の歌へる其後及び槐多の話』、『村山槐多全集 増補版』所載のテキストを比較した。表題と作者については、目次の表記も確認した。各テキストの書誌情報は以下の通りである。

・村山槐多「事実乎 小説乎 殺人行者」、『武侠世界』第4巻第5号、武侠世界社、1915年4月1日、pp.45-55

・「殺人行者」、村山槐多著・山本二郎編『槐多の歌へる其後及び槐多の話』アルス、1921年4月18日、pp.63-87〔国立国会図書館の蔵本を参照した。同蔵本では、発行日の「十八」が手書きで「廿一」または「十一」と訂正されているが、これが正しいのかどうかは不明である。書誌情報は原則として奥附に基づくが、著者と書名は標題紙に基づく。著者は奥附には無表記であり、編者は標題紙では「山本路郎」になっている。書名は奥附では『槐多の歌へる其後』とされている〕

・「殺人行者」、村山槐多『村山槐多全集 増補版』彌生書房、1963年10月30日初版発行、1993年3月10日増補初版発行、pp.205-220

1. (目)は『武侠世界』第4巻第5号の目次を指す。(歌)は『槐多の歌へる其後及び槐多の話』(全)は『村山槐多全集 増補版』であり、(歌・全)はその両方を指す。()の中の[]は補足説明である。なお、見やすくするために()を【】とした箇所もある。

1. 『武侠世界』第4巻第5号のテキストにはルビが振られているが、(歌・全)には振られていない。したがって、ルビについては逐一校異を示すことはしていない。

1. 本文の行数に章題は含まれない。

1. 冒頭に を付けた校異は微妙であることを意味する。 付きの校異はその行(または章題)の最後に配置した。

1. 「アリ」と「ナシ」は、テキストがそうなっているという意味ではなく、『武侠世界』第4巻第5号におけるテキストが当該のテキストにおいては「ある」または「ない」という意味である。

1.「/」はテキストがそうになっているという意味ではなく、テキストを区別するための記号である。

1.「 」と「 」は繰り返しの記号である。

執筆者・発行者 植田智晴

2013年9月15日 初稿発行

2013年10月13日 第二稿発行

© UEDA Tomoharu 2013

このPDFの無断での転載、複製などは禁止とさせていただきます。